

令和3年度（2021年度）広報広聴技術研究会実行委員会 次第

令和3年（2021年）5月20日（木）書面開催

議 事

- (1) 議案第1号 役員を選定について
- (2) 議案第2号 令和2年度事業実施報告について
- (3) 議案第3号 令和2年度収支決算について
- (4) 議案第4号 令和2年度会計監査報告について
- (5) 議案第5号 令和3年度事業計画（案）について
- (6) 議案第6号 令和3年度収支予算（案）について

令和3年度（2021年度）広報広聴技術研究会実行委員会 名簿

（役員）

所属	職名	氏名	備考
北海道町村会	常務理事	柴田 達夫	
北海道市長会	事務局次長	那須 秀昭	
北海道総合政策部知事室広報広聴課	広報担当課長	三浦 寛明	
北海道町村会	事務局長	山内 康弘	
北海道市長会	事務局参事	野宮 治夫	

（実行委員会事務局）

所属	職名	氏名	備考
北海道総合政策部知事室広報広聴課	課長補佐	吉田 三奈子	事務局員
北海道総合政策部知事室広報広聴課	係長	堀 智彦	〃
北海道総合政策部知事室広報広聴課	主査	伊藤 知洋	〃
北海道総合政策部知事室広報広聴課	主任	高橋 元	〃
北海道総合政策部知事室広報広聴課	主事	大垣 直也	〃
北海道市長会事務局	主査	菊地 真司	〃
北海道町村会総務部	主事	大田 脩平	〃

各議案の概要説明

(1) 議案第1号 役員の選定について

- ・昨年度に引き続き、別添「役員（案）」のとおり願います。

(2) 議案第2号 令和2年度事業実施報告について

- ・事業計画に基づき、「広報広聴技術研究会」、「第67回北海道広報コンクール」、「令和2年度総会」を実施。
- ・広報広聴技術研究会は、8月25日から26日まで実施し、131名が参加。
- ・北海道広報コンクールは、10月21日から12月7日まで募集、102点、50団体から応募。
審査会を1月25日に開催し、部門ごとに特選5点、入選作品11点を選定。
全国広報コンクールの審査の結果、映像部門で津別町が読売新聞社賞、入選2席、広報紙部門で富良野市が入選、広報写真（組み写真）部門で南幌町が佳作。
- ・総会は5月19日、7月13日、3月1日に開催（いずれも書面）。

(3) 議案第3号 令和2年度収支決算について

- ・収入の部は、道からの負担金が400,000円、日本広報協会委託金249,159円、広報広聴技術研究会参加者負担金238,000円が主な収入で、合計1,289,343円。
- ・支出の部は、広報広聴技術研究会、広報コンクールの表彰経費が主な支出で、合計1,051,323円。
- ・収支差額238,020円が令和3年度へ繰越。

(4) 議案第4号 令和2年度会計監査報告について

- ・令和3年4月27日に令和2年度会計監査を実施。

(5) 議案第5号 令和3年度事業計画（案）について

- ・広報広聴技術研究会を8月30日（月）から31日（火）で開催予定。
ただし、新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては開催形式の変更や中止を検討。
- ・北海道広報コンクールは昨年度と同様、10月中旬から12月中旬に作品を募集し、審査会を開催して、部門ごとに特選、入選作品等を選定予定。

(6) 議案第6号 令和3年度収支予算（案）について

- ・収入の部は、道からの負担金が400,000円、日本広報協会委託金249,159円、広報広聴技術研究会参加者負担金240,000円、前年度繰越金238,020円が主な収入で、合計1,128,000円。
- ・支出の部は、令和2年度実績をベースに計上し、合計1,128,000円。

広報広聴技術研究会実行委員会役員（案）

役職名	所属・職氏名	備考
委員長	北海道町村会 常務理事 柴 田 達 夫	
	北海道市長会 事務局次長 那 須 秀 昭	
副委員長	北海道総合政策部知事室広報広聴課 広報担当課長 三 浦 寛 明	
	北海道町村会 事務局長 山 内 康 弘	
監 事	北海道市長会 事務局参事 野 宮 治 夫	

令和2年度事業実施報告

1 広報広聴技術研究会の開催・・・・・・・・別紙1参照

広報に関する専門家による講義や実習及び討議等を通じて市町村職員等の広報広聴技術の向上を図るため、令和2年（2020年）8月に広報広聴技術研究会を開催した。

開催日	令和2年（2020年）8月25日（火）～8月26日（水） 札幌市
参加対象	市町村職員、北海道職員、団体職員等
参加人数	131人

2 北海道広報コンクールの実施・・・・・・・・別紙2参照

2020年中に市町村及び関係団体が発行した各種広報作品を対象に優秀な作品を選定し、地方自治体等における広報活動を奨励することにより広報技術の向上を図るため、北海道広報コンクールを実施した。

募集期間	令和2年（2020年）10月21日（水）～12月7日（月）
審査及び表彰	審査員による審査会を開催し、各媒体の部門ごとに特選1点及び入選2点程度（広報紙の町村部は、特選1点及び入選4点）を選定し、広報広聴技術研究会において表彰した。
参加対象	50団体（応募作品数102点）
審査結果	別添参照

3 会議の開催

実行委員会の事業の管理及び執行についての基本的な事項を決定するため、総会を開催した。

開催日	議事
第1回 5月19日（火）書面	議案第1号 役員の選定について 議案第2号 実行委員会事務取扱要領の改正について 議案第3号 令和元年度事業実施報告について 議案第4号 令和元年度収支決算について 議案第5号 令和元年度会計監査報告について 議案第6号 令和2年度事業計画（案）について 議案第7号 令和2年度収支予算（案）について
第2回 7月13日（火）書面	議案第1号 実行委員会規約及び事務取扱要領の改正について 議案第2号 役員の選定について
第3回 3月1日（月）書面	議案第1号 実行委員会規約の改正について 議案第2号 文書管理規程及び会計規程の制定について

令和 2 年度広報広聴技術研究会 開催概要

1 目的

専門家による講義や実技指導及び討議等を通じ、市町村職員等の広報広聴技術の向上を図る。

2 事業概要

- (1) 主催
広報広聴技術研究会実行委員会（北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成）
- (2) 開催日時
令和 2 年（2020 年）8 月 25 日（火）～8 月 26 日（水）
- (3) 開催場所
北海道第二水産ビル（札幌市中央区北 3 条西 7 丁目 Tel011-281-2071）
- (4) 参加対象
市町村職員、北海道職員、関係団体職員
- (5) 参加人数
131 人
- (6) プログラム

日 時		内 容	備 考
1 日目	12:30～13:00	○受付	30m
	13:00～13:10	○開会・オリエンテーション ○あいさつ（実行委員会委員長）	10m
	13:10～14:10	○第 6 6 回北海道広報コンクール表彰式 ・入賞市町村担当者による作品コメント	1h00m
	14:20～15:50	◆講義 1 【内容】自治体における広報マーケティング 講師（株）北海道アルバイト情報社 三浦 智昭 氏	1h30m
	16:00～17:30	◆講義 2 【内容】Web を活用して、地方の価値をアピール していく方法 講師（株）ブルームプロモーション 咲間 祐司 氏	1h30m
2 日目	9:00～12:00	◆講義 3 【内容】 <初級> 写真撮影の基礎（8 階 A 会議室） 講師 写真家 山本 純一 氏 <中級> 広報写真の実践撮影講座（8 階 B C 会議室） 講師 写真家 森廣 智幸 氏	3h00m
	13:00～16:00	◆講義 4 【内容】広報紙のデザイン 講師 三善デザイン事務所 三善 俊彦 氏	3h00m
		○閉会	

第67回北海道広報コンクール応募状況

■ 応募作品数

区分	部門別	応募作品数（点）			備考
		今回	前回	増減	
広報紙 (誌)	市の部	17	16	1	
	町村の部	29	18	11	
	政府機関・団体の部	0	0	0	
	計	46	34	12	
広報写真	一枚写真(市町村の部)	34	33	1	
	〃 (政府機関・団体の部)	0	0	0	
	組み写真 (市町村の部)	13	16	-3	
	〃 (政府機関・団体の部)	0	0	0	
	計	47	49	-2	
映像		5	6	-1	
広報企画		4	2	2	
ウェブサイト		0	2	-2	
合計		102	93	9	

■ 参加団体数

区分	今回	前回	増減	備考
市	18	17	1	
町村	32	29	3	
政府機関・団体	0	0	0	
計	50	46	4	

第67回北海道広報コンクール審査結果

1 広報紙(誌)

(1)市の部(応募数17点)

区分	団体名	広報紙(誌)名	備考
特選	富良野市	広報ふらの 7月号	全国広報コンクール推薦 (市の部)
入選	江別市	広報えべつ 10月号	
〃	石狩市	広報いしかり 11月号	

(2)町村の部(応募数29点)

区分	団体名	広報紙(誌)名	備考
特選	鷹栖町	広報たかす 9月号	全国広報コンクール推薦 (町村の部)
入選	猿払村	広報猿払 8月号	
〃	清水町	広報しみず 令和2年3月号	
〃	仁木町	広報仁木 11月号	
〃	南幌町	広報なんぼろ 12月号	

2 広報写真

(1)一枚写真・市町村の部(応募数34点)

区分	団体名	広報紙(誌)名	備考
特選	滝川市	広報たきかわ 7月号	全国広報コンクール推薦 (広報写真・一枚写真の部)
入選	中標津町	広報中標津 8月号	
〃	赤平市	広報あかびら 10月1日号	

(2)組み写真・市町村の部(応募数13点)

区分	団体名	広報紙(誌)名	備考
特選	南幌町	広報なんぼろ 9月号	全国広報コンクール推薦 (広報写真・組み写真の部)
入選	美幌町	広報びほろ 11月1日号	
〃	深川市	広報ふかがわ 2020年2月号	


3 映像(応募数5点)

区分	団体名	作品名	備考
特選	津別町	インターネットテレビ番組「タウンニュースつべつ」	全国広報コンクール推薦 (映像の部)
入選	当麻町	動く絵本「蟠龍伝説」	

第67回北海道広報コンクール特選作品の概要


1 広報紙

(1) 市の部

①作品名	広報ふらの 7月号 (令和2年7月1日富良野市発行)	
②連絡先	富良野市総務部企画振興課広報広聴係 Tel: 0167-39-2304	
③ホームページ	http://www.city.furano.hokkaido.jp/docs/2020062600039/	




(2) 町村の部

①作品名	広報たかす 9月号 (令和2年9月7日鷹栖町発行)	
②連絡先	鷹栖町総務企画課企画広報係 Tel: 0166-87-2111	
③ホームページ	https://www.town.takasu.hokkaido.jp/kouhou/2020/09.html	




2 広報写真

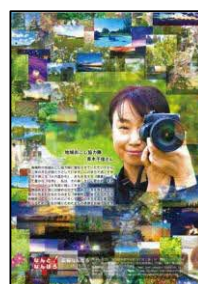
(1) 一枚写真

①作品名	広報たきかわ 7月号 1ページ (令和2年6月26日滝川市発行)	
②連絡先	滝川市総務部企画課秘書広報広聴室広報広聴係 Tel: 0125-28-8005	
③ホームページ	https://www.city.takikawa.hokkaido.jp/200soumubu/03kikaku/04kouhou/01kouhou_taki/2020/0207.html	




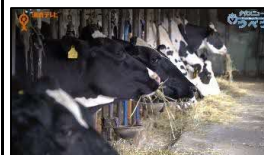
(2) 組み写真

①作品名	広報なんぼろ 9月号 22ページ (令和2年9月1日南幌町発行)	
②連絡先	南幌町まちづくり課企画情報グループ Tel: 011-378-2121	
③ホームページ	http://www.town.nanporo.hokkaido.jp/kouhou/backnumber/2020nen/2020-9/	



3 映像

①作品名	インターネットテレビ番組「タウンニュースつべつ」 「#43津別町の放牧酪農家の人生に密着スペシャル！」 (令和2年10月号)」	
②連絡先	津別町住民企画課企画係 Tel: 0152-76-2151	
③ホームページ	https://www.youtube.com/watch?v=Uo6grPKdVql&feature=youtu.be	



令和2年度広報広聴技術研究会実行委員会収支決算書(案)

(令和2年4月1日から令和3年3月31日)

1 収入の部

(単位:円)

項 目	2年度当初予算額(A)	予算流・充用額(B)	予算現額(C)	2年度決算額(D)	増 減(D-C)
道負担金	400,000		400,000	400,000	0
日本広報協会委託金	249,159		249,159	249,159	0
参加者負担金	350,000		350,000	238,000	-112,000
雑収入/受取利息	661		661	4	-657
当期収入合計	999,820		999,820	887,163	-112,657
前期繰越収支差額	402,180		402,180	402,180	0
収入合計 ①	1,402,000		1,402,000	1,289,343	-112,657

2 支出の部

(単位:円)

項 目	2年度当初予算額(A)	予算流・充用額(B)	予算現額(C)	2年度決算額(D)	差引残額(C-D)
会場設営費	350,000		350,000	300,080	49,920
会場等使用料	350,000		350,000	300,080	49,920
印刷製本費	260,000		260,000	195,388	64,612
報償費	450,000		450,000	372,821	77,179
講師謝金	300,000		300,000	340,151	-40,151
表彰経費	150,000		150,000	32,670	117,330
役務費	100,000		100,000	46,750	53,250
事務費	165,000		165,000	70,793	94,207
食糧費	5,000		5,000	1,872	3,128
旅費	100,000		100,000	2,409	97,591
通信運搬費	20,000		20,000	25,188	-5,188
消耗品費	40,000		40,000	41,324	-1,324
精算金	0		0	0	0
予備費	77,000		77,000	65,491	11,509
支出合計 ②	1,402,000	0	1,402,000	1,051,323	350,677

3 収支決算

(単位:円)

項 目	2年度予算額(A)	予算流・充用額(B)	予算現額(C)	2年度決算額(D)	増 減
収入合計 ①	1,402,000		1,402,000	1,289,343	-112,657
支出合計 ②	1,402,000		1,402,000	1,051,323	350,677
収支差額(①-②:次期繰越金)	0		0	238,020	238,020

令和2年度会計監査報告書

広報広聴技術研究会実行委員会の令和2年度収支決算について、会計帳簿及び証拠書類等により、監査を実施した結果、その内容は適切かつ正確であると認める。

令和3年 4月27日

監事 山内 康弘



監事 野宮 治夫



令和3年度事業計画（案）

社団法人北海道広報協会の事業を引き継ぎ、平成18年度から北海道市長会、北海道町村会及び北海道をもって構成する「広報広聴技術研究会実行委員会」が実施主体となって市町村等の「広報力」の向上を図る取組を実施してきた。

道内の地方自治体では、少子高齢化や財政、環境問題等様々な政策課題の解決に向けて、住民と行政が情報を共有し、一体となり取り組んでいくことが求められており、行政における広報広聴活動はより一層重要性を増している。

そこで、地域の振興と発展を担う道と市長会、町村会が一体となり、これまで広報協会が行ってきた必要かつ重要性の高い事業について引き続き実施し、本道自治体の広報・広聴技術の向上に資する。

1 広報広聴技術研究会の開催・・・・・・・・別紙3参照

広報に関する専門家による講義や実習及び討議等を通じて市町村職員等の広報広聴技術の向上を図るため、令和3年（2021年）8月に広報広聴技術研究会を開催する。

ただし、新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては開催形式の変更や中止を検討する。

- ◆ 開催日 令和3年（2021年）8月30日（月）～8月31日（火） 札幌市
- ◆ 参加対象 市町村職員、北海道職員、団体職員等

2 北海道広報コンクールの実施・・・・・・・・別紙4参照

2021年中に市町村及び関係団体が発行した各種広報作品を対象に優秀な作品を選定し、地方自治体等における広報活動を奨励することにより広報技術の向上を図るため、北海道広報コンクールを実施する。

- ◆ 募集期間 令和3年（2021年）10月中旬～12月中旬
- ◆ 審査及び表彰 審査員による審査会を開催し、各媒体の部門ごとに特選1点及び入選3点程度（広報紙の町村部は、特選1点及び入選5点程度）を選定し、広報広聴技術研究会において表彰する。
- ◆ 参加対象 市町村、団体

3 会議の開催

実行委員会の事業の管理及び執行についての基本的な事項を決定するため、総会を開催する。

「令和3年度広報広聴技術研究会」について（案）

1 目的

専門家による講義や実技指導及び討議等を通じて市町村職員等の広報広聴技術の向上を図ることを目的とする。

2 事業概要

(1) 主催

広報広聴技術研究会実行委員会（北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成）

(2) 開催日時

令和3年（2021年）8月30日（月）（1日目）13時00分～17時30分

8月31日（火）（2日目）9時00分～16時00分

※新型コロナウイルス感染症の収束状況によっては開催形式の変更や中止を検討する。

(3) 開催場所

北海道第二水産ビル（札幌市中央区北3条西7丁目 Tel 011-281-2071）

(4) 参加対象

市町村職員、北海道職員、関係団体職員

(5) 参加予定人数

130人

(6) 開催内容及び日程

【第1日】

12:30～13:00	受付
13:00～13:10	オリエンテーション 主催者あいさつ
13:10～14:10	第67回北海道広報コンクール表彰式 広報コンクール入賞市町村担当者による作品コメント
14:20～15:50	専門家による講義等
16:00～17:30	専門家による講義等

【第2日】

9:00～12:00	専門家による講義等
13:00～16:00	専門家による講義等

(7) 運営経費

北海道負担金及び参加者負担金（参加者負担金 2,000円/人）

（表彰経費は日本広報協会委託金）

（注）北海道市長会職員、北海道町村会職員、北海道職員から参加者負担金は徴収しないものとする。

「令和3年度北海道広報コンクール」について（案）

1 目的

2021年中に市町村及び団体等が発行した各種広報作品を対象に優秀な作品を選定し、市町村等における広報活動を奨励することにより、市町村等の広報技術の向上に資することを目的とする。

2 事業概要

(1) 主催

広報広聴技術研究会実行委員会（北海道、北海道市長会、北海道町村会で構成）

(2) 対象媒体

ア 広報紙

(ア) 市部

(イ) 町村部

(ウ) 団体の部

イ 広報写真

(ア) 一枚写真 ……市町村の部、団体の部

(イ) 組写真 ……市町村の部、団体の部

ウ 映像……市町村の部

(3) 応募基準

応募作品は、各媒体とも市町村及び団体の企画によるもので、2021年1月～12月の間に発行、発表、公開されているものを対象とする。

(4) 募集期間

令和3年（2021年）10月中旬～12月中旬

(5) 参加対象

市町村、団体

(6) 審査

主催者及び主催者が委嘱する審査員による審査会の審査を経て、各対象媒体の部門ごとに特選1点及び入選3点程度（広報紙の町村部は、特選1点及び入選5点程度）を決定する。

(7) 全国コンクールへの推薦及び提出

審査の結果、各対象媒体の部門ごとに特選となった作品は公益社団法人日本広報協会主催の「全国広報コンクール」に推薦する（日本広報協会の会員以外の場合はエントリー料を納入することで応募できる。）。

(8) 発表及び表彰

応募作品の審査結果は、当該市町村等に通知する。

また、選定された市町村等の表彰は、「広報広聴技術研究会」において行う。

3 その他

「北海道広報コンクール」の実施にあわせて下記（1）対象媒体について公益社団法人日本広報協会会員である市町村から自薦による募集を行い、主催者において取りまとめ、公益社団法人日本広報協会主催の全国広報コンクールに提出する。

(1) 対象媒体

ア 広報企画……市町村の部

イ ウェブサイト……市の部、町村の部

(2) 応募基準及び募集期間

2（3）及び（4）に同じ

令和3年度広報広聴技術研究会実行委員会収支予算書
(令和3年(2021年)4月1日から令和4年(2022年)3月31日)

1 収入の部

(単位:円)

項 目	3年度予算額(A)	2年度予算額(B)	増 減(A-B)
道負担金	400,000	400,000	0
日本広報協会委託金	249,159	249,159	0
参加者負担金	240,000	350,000	-110,000
雑収入／受取利息	821	661	160
当期収入合計 (A)	889,980	999,820	-109,840
前期繰越収支差額	238,020	402,180	-164,160
収入合計 (C)	1,128,000	1,402,000	-274,000

2 支出の部

(単位:円)

項 目	3年度予算額(A)	2年度予算額(B)	増 減(A-B)
会場設営費	350,000	350,000	0
会場等使用料	350,000	350,000	0
印刷製本費	200,000	260,000	-60,000
報償費	400,000	450,000	-50,000
講師謝金	350,000	300,000	50,000
表彰経費	50,000	150,000	-100,000
役務費	50,000	100,000	-50,000
事務費	88,000	165,000	-77,000
食糧費	3,000	5,000	-2,000
旅費	10,000	100,000	-90,000
通信運搬費	25,000	20,000	5,000
消耗品費	50,000	40,000	10,000
精算金	0	0	0
予備費	40,000	77,000	-37,000
支出合計 (C)	1,128,000	1,402,000	-274,000

3 その他

支出において、項目間の流用を認めるものとする。